

【アクセス | Access】

〔つくばセンターまで〕
 ・つくばエクスプレス 秋葉原駅からつくば駅(つくばセンター)まで最速45分
 ・成田バス 成田空港から「つくばセンター」行バス(約100分)

〔つくばセンター発バス〕
 バスターミナルつくばセンター6番停留所から
 筑波大学中央行、もしくは筑波大学循環バス(右回り/左回り)に乗車
 ・筑波大学中央行、もしくは筑波大学循環バス(右回り)は「第一エリア前」停留所下車
 ・筑波大学循環バス(左回り)は「大学公園」停留所下車

【募集要項について】

以下のサイトより募集要項をご確認ください。
<http://www.ap-graduate.tsukuba.ac.jp/>

また、学生募集に關し、不明な点などがある場合には、
 次まで照会してください。

〒305-8577 茨城県つくば市天王台1-1-1
 筑波大学教育推進部教育企画課大学院入試担当
 TEL.029-853-2230・2231

【Credits & Copyright】

筑波大学大学院 人間総合科学研究科
 世界文化遺産学専攻・世界遺産専攻
 〒305-8571 茨城県つくば市天王台 1-1-1 共同研究棟 A
 TEL. 029-853-7099 (専攻事務室)
 Graduate School of Comprehensive Human Sciences, University of Tsukuba
 World Heritage Studies & World Cultural Heritage Studies
 1-1-1 Tennodai, Tsukuba-shi, Ibaraki 305-8571, Japan
 E-mail : office@heritage.tsukuba.ac.jp
 Direction | Design 情報設計 Info-architects.jp
<http://nc.heritage.tsukuba.ac.jp/>

博士前期課程	
募集人数	15名
募集要項掲載時期	5月
出願書類受付	9月
学力検査	10月
合格発表	11月
博士後期課程	
募集人数	7名
募集要項掲載時期	11月
出願書類受付	1月
学力検査	2月
合格発表	2月

【国際交流・国際協力】

ドイツ連邦共和国ブランデンブルク工科大学コップス・ゼンフテン
 ヘルク校との間で交換留学協定が結ばれています。
 教員・研究員・学生(博士前期・後期課程)の交流や共同研究および研究会が行
 われています。1年間で学生2名の留学が実施されています。

文化遺産マネージメントのためのアジアアカデミー (AAHM) のメ
 ンバー校です。
 AAHMはユネスコバンコク事務所に拠点を置く、アジアの教育機関や政府系機
 関、民間組織による協力ネットワークです。AAHMが開催するフィールドスクール
 に本専攻の学生が参加しています。

文化庁委託事業「インドネシアの歴史地区の地域振興のための拠点
 交流事業」を平成24年より行っています。

【自然保護寄附講座】

筑波大学人間総合科学研究科世界遺産専攻と生命環境科学研究科は、大学院生を対象とした寄附講座を、平成26年度から5年間に
 わたり開講します。この寄附講座では、自然と文化にまたがる学際的
 な知識と、国際的な経験をもとに、自然保護に関する国際機関や国
 内機関、国際援助機関等で活躍する人材を育成することを目指して
 います。

<http://www.conservation.tsukuba.ac.jp/>

【修了後の進路】

- 公務員・研究所等 文部科学省、外務省、特許庁、青森県、茨城県、千葉県、愛知県、堺市、水戸市、市川市、台東区、富岡市、富士市、鎌倉市、横浜市、
 (独)国際交流基金、(独)東京文化財研究所、(独)奈良文化財研究所、(独)国際協力機構 ほか
- 財団・博物館等 (財)日本交通公社、(財)札幌市芸術文化財団、(財)日本自然保護協会、(公財)助成財団センター、(公財)東京観光財団、
 栃木県立博物館、川崎市市民ミュージアム ほか
- 民間企業 国際文化財(株)、森ビル(株)、(株)大林組、(株)パスコ、(株)時事通信社、大分合同新聞社、(株)ツーリズム・マーケティング研究所、
 前田建設工業(株)、(株)TBSトライメディア、(株)エイチ・アイ・エス、パンフィックコンサルタンツ(株)、(株)文化財工学研究所 ほか
- 進学(博士後期課程) 筑波大学大学院人間総合科学研究科世界文化遺産学専攻、早稲田大学大学院創造理工学研究所、東北大学大学院都市建築学専攻



筑波大学大学院人間総合科学研究科
 Graduate School of Comprehensive Human Sciences
 University of Tsukuba

大学院博士前期課程
世界遺産専攻
 Master's Program in World Heritage Studies

大学院博士後期課程
世界文化遺産学専攻
 Doctoral Program in World Cultural Heritage Studies





筑波大学大学院 世界遺産専攻・世界文化遺産学専攻

今日の世界は、平和構築、貧困削減、持続可能な発展、気候変動への対応、生物多様性の保全まで、多くの地球規模の課題に直面しています。このような中で、国際社会における日本の役割はますます重要になってきており、日本は大きな貢献と支援を期待されています。

世界遺産条約は、顕著な普遍的価値を有する文化遺産・自然遺産を共有し継承していくことが私たちの義務であり、これらの遺産を守るためには各国が協働しなければならない、としています。このような文化・自然遺産保護のための国際協力の原則はきわめて要を得たものであり、広く関心を喚起しています。

日本は、100年以上にわたる文化遺産保全の歴史を誇ります。世界各国が、長きにわたる知識・知恵の蓄積と最新の保全技術とを組み合わせた日本の高度な専門性に注目しています。日本は、カンボジアやアフガニスタンなど多くの国や地域で文化遺産に関する国際協力を経験し、その努力の成果は高く評価されています。ユネスコは、昨今の自然災害によって被害を受けた遺産やその危機に瀕する遺産の



保全のため、多くの経験と深い知識を有する日本の協力を要請してきました。

このような状況や要請に応えるため、筑波大学大学院において2004年4月には世界遺産専攻博士前期課程が、2006年4月には世界文化遺産学専攻博士後期課程が設置されました。これらのプログラムは今日の需要に応え、日本が新たに文化遺産・自然遺産に関する国際貢献を展開していくための可能性を提供するものです。才能ある若き個人々がこれらの課程を通じて深い知識と高度な技能を身につけ、国内外の世界遺産保全の一翼を担えるようになることを、心から応援しております。



松浦晃一郎
Former Director-General of UNESCO



筑波大学の世界遺産学


世界遺産専攻・世界文化遺産学専攻では、世界の文化遺産、自然遺産の保護を通して、国際社会に貢献する仕事を目指している意欲ある方々を歓迎します。世界遺産の保護は、多くの人々に支えられて行われています。遺跡の修復整備、あるいは野生動物保護の最前線から、教育普及活動、観光計画、開発計画まで、非常に幅広い分野にまたがって、多くの人々が参加して行われています。

世界遺産専攻では、より広い視野から問題のありかを探り、そして専門知識に裏付けられた優れたコミュニケーション能力をもって、複雑な問題の解決にあたっていく力をつけることを目指して、常に学生と教員の間で議論が重

ねられています。そしてそのためにも、教育は積極的に遺産保護の現場で行われています。また教員は国内外で活躍に仕事をしており、関係する国際機関の会議、例えば世界遺産委員会や生物多様性条約締結国会議などから得られる世界の最先端の情報が蓄積されています。

世界遺産専攻・世界文化遺産学専攻に来られた方々は、文化遺産、自然遺産の保護のためにはこんなことも行われているのかという驚く経験することになります。遺産保護は新しい学問領域です。現場が直面する問題に即応していかなければならない、まさに実学です。そうした仕事を一緒にしていこうという熱意を歓迎します。

教員 Faculty

 Professor 吉田正人 YOSHIDA Masahito 自然保護 Conservation of Nature	 Professor 稲葉信子 INABA Nobuko 文化遺産論 Heritage Theory and Policy Studies	 Professor 上北崇史 UEKITA Yasuhito 遺産整備計画 Project Management of Heritage Sites	 Professor 八木春生 YAGI Haruo 東洋美術史 History of Eastern Art	 Professor 黒田乃生 KURIODA Nobu 文化的景観 Cultural Landscape	 Professor 松井敏也 MATSUI Kenji 保存科学 Conservation Science	 Associate Professor 伊藤弘 ITO Hiroto 開発観光計画 Development / Tourism Planning	 Associate Professor 佐伯いく代 SAEKI Yukiko 保全生態学 Conservation Ecology	 Assistant Professor 武正憲 TAKE Masanori エコリズム/景観 Ecotourism/ Landscape Architecture	 Assistant Professor 佐藤布武 SATO Nobuhiko 建築史まちづくり Architectural History/ Town Planning
--	--	--	---	---	--	--	--	---	--

カリキュラムシステム

世界遺産学基盤科目 World Heritage Studies Common Subjects

国際遺産学分野 International Heritage Studies

遺産の評価と保存分野 Theory and Conservation

遺産のマネジメントとプランニング分野 Management and Planning

筑波大学大学院博士前期課程

世界遺産専攻 定員 15名

世界遺産専攻では、遺産の保護に関わる多彩な分野の研究と教育を通じて、文化遺産と自然遺産の保護に関わる国際的な舞台で活躍する専門家の育成を目指しています。

文化遺産から自然遺産、そしてその境界にある文化的景観まで、世界遺産学は非常に幅広い領域に広がっています。皆さんは、そのどこかに焦点をあてて世界遺産学を学び、そして研究していくことになります。すでに目標が決まっている人はいいのですが、そうでない人にはなかなか難しいことかもしれません。

そのため筑波大学の世界遺産専攻では、効果的に世界遺産学を学習し、そして修了後の仕事に結び付けていくために、3つの専門分野を用意して、教育と研究を支援しています。

その3つの分野とは国際社会における世界遺産保護あるいは日本の国際貢献に携わっていききたいと思う皆さんのための「国際遺産学」、哲学・美学・

筑波大学大学院博士後期課程

世界文化遺産学専攻 定員 7名

世界遺産の保護のためには、個々の遺産そのものに関する学術的調査・分析・評価及び保存修復技術の研究や開発はもちろん、遺産をとりまく様々な条件をより広い視野から分析し、関係領域との連携のもとに、持続的保護に向けた総合的な保護手法を確立していくことが求められています。

1972年の世界遺産条約の成立によって誕生した世界遺産の保護は、ユネスコの主導のもとに多くの成果をあげてきました。しかし40年を経て、登録遺産の数の増加、途上国の自立的保護、紛争・災害と危機管理、観光振興と保護の両立など、遺産保護に関わる多くの問題が生じています。

世界文化遺産学専攻は、さらに高度な専門的知識と研究能力を取得して、

世界遺産専攻カリキュラム

全分野共通 Common Subjects

科目

世界遺産特別演習(ゼミ単位)
Special Seminar on World Heritage Studies
全員

文化遺産論
Cultural Heritage Theory and Policy Studies
稲葉

文化遺産演習
Seminar for Preservation of Cultural Heritage
黒田

無形遺産論
Intangible Heritage Studies
非常勤

世界遺産特別研究(修士論文)
Special Research for World Heritage Studies
全員

自然遺産論
Natural Heritage Studies
吉田

世界遺産学外研修
Internship in the field of Heritage
専攻専任教員

宗教論
Religious Studies

必修

選択

自然保護寄附講座

世界遺産論(教員オムニバス)
World Heritage Studies
全員

自然遺産演習
Seminar on Natural Heritage
吉田

遺産保護行政論
Policy and Administrative Systems for Protection of Heritage
非常勤

遺産の保存と活用
Protection and Use of Heritage
非常勤

自然保護論
Nature Conservation Study
吉田

生物多様性論
Biodiversity Study
佐伯

景観・緑地保全論
Landscape and Open Space Conservation
伊藤・黒田

自然保護行政論
Nature Conservation Administration
非常勤

(ほか科目)

国際遺産学分野 International Heritage Studies

文化自然遺産の保全管理に関して、我が国の国際協力が求められる場面が多くなっています。本分野は、将来、文化自然遺産に関係する国際機関や国際協力分野で活躍したいと考えている学生、すでに何らかの国際協力分野での経験を積み学位を取得したいと考えている社会人、英語で世界遺産学を学びたいと考える留学生などに向けています。授業では、文化自然遺産の保全

科目 Subjects

国際遺産論
Heritage Theory and Policy Studies
稲葉

国際機関の役割
Role of International Organizations and NGOs
吉田・稲葉

世界遺産と持続可能性
World Heritage and Sustainability
吉田・稲葉

ユネスコと世界遺産条約
Unesco and the World Heritage Convention
稲葉

世界遺産と国際協力
World Heritage and International Cooperation
吉田・稲葉

プロジェクト実習
Project Practice in World Heritage
吉田

に関する国際機関や制度などについて実践例に基づいて学習するとともに、海外におけるプロジェクト実習等を通じて、現場でのプロジェクトマネジメントについて体験的に学ぶことをねらいとしています。そのため、本分野を学びたい学生にとって英語は必須ですが、自分の意見を言うのだろうかとおそれることはありません。まずは第一歩を踏み出す勇気が大切です。

国際条約論
International Conventions for Heritage Conservation
吉田・稲葉

世界遺産と市民参加
World Heritage and Civil Participation
吉田・稲葉

遺産の評価と保存分野 Theory and Conservation

遺産の評価と保存分野は、美術、保存科学、建築、哲学から構成され、これらを駆使し「世界遺産を科学する」ことを目指しています。美術史や保存科学を学び将来博物館や美術館で働くことを目指している学生、建築史や建築保存、保存修復などで経験を積み遺産修復現場で仕事をしたい学生、哲学や美学を通して研究の道を究めたい学生、そしてこれらを横断的に学び高度専門職業人として教育委員会や研究所などで文化財と関わりたい学生に適しています。自らが進んだ専門的な知識

に加えて、関連する他の専門科目を履修することにより幅広い知識を習得し、それをすぐに職場で活かせる人材を養成します。本分野では美術遺産論、保存科学概論、建築保存、文化財の思想と体系などで基礎を学び、各演習を通して作品調査の仕方、遺跡や建造物の修復について実地に訓練を行います。また専攻教員が各学生の研究内容に沿って推奨する他専攻の科目を履修することで、幅広く基礎的な知識や技術を備えられるようサポートします。

科目 Subjects

美術遺産論1
Art Heritage 1
八木

保存科学概論
Conservation Science
松井

建築遺産演習
Seminar on Architectural Heritage
佐藤

美術遺産論2
Art Heritage 2
八木

保存科学演習
Seminar on Conservation Science
松井

美術遺産演習
Seminar on Art Heritage
八木

建築遺産論
Architectural Heritage
佐藤

遺産のマネジメントとプランニング分野 Management and Planning

遺産のマネジメントとプランニング分野は文化観光、文化景観、遺産整備をまなび、遺産保護に関わる幅広い視野を養うことを目指しています。都市計画、建築、造園などのコンサルタント会社、地方自治体やNPO法人の職員を志望する学生に適しています。遺産の現場で必要な知識と技術を身につけ、即戦力となる人材を養成します。

ぶことができます。遺産観光論、文化的景観論、遺産整備計画論などを基礎知識として学習したうえで、より広い「地域」を対象としたマネジメントについて学びます。また、実際の現場でさまざまな立場の関係者の声を聞きながら研究をすすめることができるのが特徴です。履修を通して、マネジメントのための調査、解析、計画立案に至る技術を備えた学生の育成を目指します。専門的に特化した技術を習得したい学生は他専攻の推奨科目を組み合わせることで履修することにより高度な職業人としての能力を身につけることが可能です。

科目 Subjects

遺産整備計画論
Project Development and Management of Heritage Sites
上北

遺産観光論
Heritage Tourism
伊藤

遺産整備計画演習
Seminar on Project Development and Management of Heritage Sites
上北

インタプリテーション概論
Heritage Interpretation
武

文化的景観論
Conservation of Cultural Landscapes
黒田

プランニング演習
Seminar for Resource Use Planning
伊藤